

# ～生命保険＝保障（安心）を買う～

先日、知人にある保険を提案しました（結論は後述します）。その保険はブレーンの方からいただいた情報だったのですが、個人的には“非常にお得な保険”だと思えたので、本紙面でご紹介させていただきます。



## 【加入者情報】

- ・47歳の男性（配偶者あり、お子さんなし）
- ・自身に万が一のことがあった時には、奥様が1,000万円程度受け取れるようにしておきたい

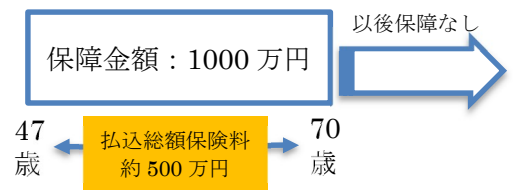
## 【今回の提案】

### 1. 定期保険

このようなケースでは、“定期保険”で保障を買うのが一般的です。“定期保険”は、“保障される期間が定期”に限定され、定期期間経過後の保障はありませんので、保険料は安くなります。

円建て、保障金額1,000万円、保障期間70歳、保険料払込期間70歳で、月額保険料18,460円でしたので、払込保険料総額約500万円で70歳までの保障1,000万円を買うことになり、71歳以降の保障はゼロになります。

“保障が必要なのは70歳までで、71歳以降の保障は必要ない”というニーズであれば、この定期保険の加入でOKです。



### 2. 終身保険

一方で、“終身保険”で保障を買った場合はどうなるのでしょうか？

“終身保険”は“保障される期間が終身（一生）”ですので、医療の進歩で不老不死が実現されない限り、“必ず保険金の支払いを受けることができる保険”となりますが、定期保険と比べると保険料は当然高くなります。今回は下記の3パターンを提案してみました。

#### 終身保険パターン①

円建て、保障金額1,000万円、保障期間＝終身、保険料払込期間65歳（18年）で月額保険料49,770円でしたので、払込保険料総額は約1,070万円



#### 終身保険パターン②

ドル建て、保障金額約1,000万円、保障期間＝終身、保険料払込期間65歳（18年）で月額保険料41,558円でしたので、払込保険料総額は約900万円



#### 終身保険パターン③

ドル建て、保障金額約1,000万円、保障期間＝終身、保険料払込期間＝終身（65歳で払い済保険に変更）、で月額保険料30,756円でしたので、払込保険料総額は約660万円

\*本来終身支払うべき保険料を65歳で払済に変更するため、保障金額も約630万に下がる



結局、知人は終身保険のパターン③を選択されました。“いつ死ぬかわからない（70歳までに死ぬ可能性は低い）”“30万円（660万円－630万円）で65歳までの1,000万円の保障を買う方が得”“海外駐在歴もあり、為替リスクは感じない”“月額保険料の30,756円は家計に負担とはならない額”という理由でした。

『現状加入しておられる保険内容がご自身のニーズに沿ったものかどうか？』

皆様も今一度ご確認されてみてはいかがでしょうか。

（文責：藤村 祐司）